

<p>△産業宣教/幼児幼稚修練会 1 講 霊的な力と伝達 (出 2:1-10)</p>	<p>△核心訓練/幼児幼稚修練会 2 講 霊的刻印(出 2:1-10)</p>	<p>△レムナント伝道学 レムナントが見るべき 24 (出 3:18-20)</p>																	
<p>子どもに正確な福音を伝えることは、みなさんも分からない働きが起こる。胎児、幼児、幼稚のときに刻印されたことは、永遠に抜けないのに、その時刻表に、神様がなまじく福音と反対になることを入れている。それゆえ、子どもたちに精神疾患が発生している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霊的な力と伝達—ことばは聞き取れなくても正確に伝えられる。 ・出 2:1-10 乳を飲むとき、乳離れさせて歩くとき、レビ人ヨケベデはモーセにすべてを伝達した。 <p>△この子は私の手から出る日が終わりだという心ですれば、とても霊的なことが伝達される。</p> <table border="1" data-bbox="107 454 761 539"> <thead> <tr> <th>キャンプ時代</th> <th>両親(フォーラム)時代</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未来、祈り、タラント</td> <td>家庭、会堂、ロッジ</td> <td>三位一体の神様</td> </tr> <tr> <td>(ただ) (唯一性) (再創造)</td> <td>世界化</td> <td>神の国—こと</td> </tr> </tbody> </table> <p>△今からキャンプ時代を開きなさい。私たちがいちばんしなければならないキャンプは両親だ。ここに重要な役割をする人が教師だ。未来キャンプ(ただ発見)、祈りキャンプ(唯一性が見えるほど祈れるように)、タラントキャンプ(他の人はできないのようになる再創造)すべきだ。聖書で福音を持って世界を生かした少数のユダヤ人は、家庭で読書など重要な教育をした。会堂に、ロッジに(現場)つないだ。世界化されるのだ。教師は三位一体の神様の実在を教えなければならない。そのときから、神の国と神の国のことが来て、世の中を生かすことができる。</p> <p>□序論_幼いとき、種として植えられなければならないこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 御座の祝福 <ol style="list-style-type: none"> 1) 5 力(御座の主人—三位一体) 2) 御座の力 9 つ(3 超越、3 いのち、3 空前絶後) 3) 御座の祝福を味わう 3 時代(専門化、弟子化、世界化) 2. 神様の祝福(問題)を拒否 3. 最後—結論(結果)を考え→子どもが外に出て行って問題に会ったとき勝つことができるべきだ。 <p>□本論_どのように伝達するのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝えられる霊的状态—問題、答え、事件はすべて過程 2. 霊的状态にあるこの力が伝達—現場に行ったとき、危機に会ったとき 3. 空前絶後の働き—Remnant が育て 7 つのわざわいを止める者、解決者、世界福音化 <p>△みなさんは空前絶後の存在だ。職業にしたがって、今この霊的祝福を伝達する人がないので、それを私がすると考えれば良い。決意しているこのように(序論のように)答えが来る。</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭—タラント(読書)→「三位一体の神様の御座の祝福とともに」 2. 会堂—専門性(専門家)→「三位一体の神様の力の中で」、教会だけ可能 3. ロッジ—現場性(お使い) 	キャンプ時代	両親(フォーラム)時代	教師	未来、祈り、タラント	家庭、会堂、ロッジ	三位一体の神様	(ただ) (唯一性) (再創造)	世界化	神の国—こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奴隷(エジプト文化征服のための偵察)、幼児殺害(神様の特別な時刻表)、荒野(すべての契約回復)—この神様の計画を見た人がヨケベデ(出 2:1-10) →このように契約を正確に握れば答えがくる。 ・ キャンプ時代—両親がこの目を開くように、未来キャンプ、祈りキャンプ、タラントキャンプをしなければならない。刻印時代—刻印させなさい。刻印されたことが全世界に伝えられる。 <p>□序論_何によって刻印しなければならないのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三つの祭り—ともに天幕を作りながら守ったこと <ol style="list-style-type: none"> 1) タラント、専門化、現場化 2) 未来、祈り、タラントキャンプになったこと 3) 救いの力、背景—過越祭、五旬節、仮庵祭の内容を知っている人を通して世界福音化された 2. 幕屋礼拝に連結 <ol style="list-style-type: none"> 1) 幕屋中心(世界征服) 2) 礼拝中心(世界知性掌握) 3) 献金中心(世界経済掌握) 3. 現場—この祝福が現場まで連結 <ol style="list-style-type: none"> 1) 家庭(天幕が幕屋に向かうように) 2) 会堂で 3) ロッジで <p>□本論_三つのことをするべきであるため</p> <p>△みなさんがキリストで確実になったとすれば、サタンはひざまずく(1ヨハ 3:8、マコ 10:45)。本当に原罪は解決できない。それゆえ、神様が赦してくださいということだ。サタンに勝てない。それゆえ救ってくださいということだ。本当の罪は神様を離れた罪、原罪だ。サタンに捕えられたのだ。死ぬのだ。表には出ない。それゆえ、福音で刻印、根、体質を作らなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼いとき—福音刻印 <p>幼いとき福音が刻印された Remnant 通して世界福音化、暗やみ x 問題—危機のように見える。だまされてはならない。</p> 2. 成長—根(福音が刻印されていれば成長しながら出会うことを通して福音に根をおろす)神様の御座、御座の力、御座の祝福を味わう教会が出てくる。 3. できごとと危機—体質(危機をまったく感じず感謝する体質) <p>24(私、教会、現場に臨む御座)、25(神の国のこと)、永遠(作品)</p> <p>□結論_今から始めること</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 セレモニー—成人式(タラント発見)、使命式(専門性発見)、派遣式(現場性発見) 3 キャンプ—未来キャンプ、祈りキャンプ、タラントキャンプ 3 時刻表—講壇中心、現場中心、次世代と未来中心 <p>深い祈り— 3、9、3(三位一体の神様、御座の祝福、3時代の祝福が私に臨むように)+呼吸祈り</p>	<p>□序論_霊的サミットとしてセッティング(すべてを受け入れて超越しなさい)</p> <p>△Remnant は年齢が幼くても霊的サミットにはなれる。この答えを受ければ、みなついてくるようになる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聞くこと、見ること、話すこと—これを受け入れて超越する力があるべき 2. 教会(人の声、世の中の声、間違った声)—謙虚に受け入れて、はやく跳び越えるべき 3. 学校(世の中)—ほとんど包装されている。はやく跳び越えるべき <p>□本論_しなければならないこと(モーセがした三つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 40 年の間王宮(勉強する理由)—世の中のことをしてこそ跳び越えることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学問を勉強 2) 文化を勉強 3) 世の中を見る目が開かれる 2. 40 年間ミデヤンの荒野(霊的力を備えた)—誰も助けることができない荒野 <ol style="list-style-type: none"> 1) 羊を飼った。2) 捨てられた状態(祈りを始める) 3) 神様のみことば整理 3. 40 年間荒野の道(使命を果たす)—これが世の中に出て行く理由 <ol style="list-style-type: none"> 1) 契約の箱完成 2) 三つの祭り 3) 幕屋—幕屋中心にイスラエルが動いた。 神様 <p>□結論</p> <table border="1" data-bbox="1478 766 2128 845"> <tr> <td>勉強、祈り、タラント</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>同時に契約を握って祈る</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>△散らされた弟子たち 探すべき 24 (使 2:9-11)</p> <p>□序論_探すべき 24 —「福音霊的サミットの見張り人」 Gospel Spiritual Summit's Highest →ついてくる絶対答え(使 2:9-11 の人々がこの契約を握った散らされた者)</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 背景—祈りでいつも味わえば良い。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 御座の神様(三位一体) 2) 御座の力 9 つ 3) 御座の実現三つ(神の国のこと) 2. 身分 <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 1:14 マルコの屋上の間に当然行く。 2) 使 2:9-11 15 か国の門 3) 残りの者(迫害)、散らされた者(旅人)、隠された者(捨てられた者) 3. 権威—上からの力 <ol style="list-style-type: none"> 1) 一人で味わう権威 2) 現場で味わう権威 3) 迫害の中で味わう歴史的な権威 <p>□結論_行くようになる絶対旅程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神様が準備された人(使 13:48) 2. 神様が準備された現場(使 27:24) 3. 神様が準備された未来(ロマ 16:25-27) 	勉強、祈り、タラント	人	—	人	同時に契約を握って祈る			
キャンプ時代	両親(フォーラム)時代	教師																	
未来、祈り、タラント	家庭、会堂、ロッジ	三位一体の神様																	
(ただ) (唯一性) (再創造)	世界化	神の国—こと																	
勉強、祈り、タラント	人	—	人																
同時に契約を握って祈る																			

<p>△区域メッセージ アブラハムが味わった私の 24 (創 12:1-4)</p>	<p>△聖日 1 部礼拝 正しい祈りは神のことを味わうことができる (マタ 6:32-34)</p>	<p>△聖日 2 部礼拝 あらかじめ行うこと三つ (マタ 7:1-6)</p>
<p>□序論_神様がアブラハムを選んで召された。 △今日、私たちは礼拝をささげながら答えを受けることができ、人との対話の中で神様からの答えを見つけることができる。祈る人は非難される時も、良い話を聞く時も、とても大きな答えを受けることができる。これが答え 24 だ。 1. 未来—「ただ」が発見できる。人々は問題が生じると問題だけ見て、これを見つけれない。 2. 祈り—祈りを続ける中で「唯一性」がくる。これは年齢と学問も関係ない。 3. タラント—私だけできる祝福があるが、それを「再創造」と言う。 △私たちの中で小さい現実の中でも必ず、ただ、唯一性、再創造の答えが入っている。大部分の人が「今日」をのがす。未来はこれからあることで、過去は過ぎ去ったことなのに、今日をのがせば、すべてをのがすことだ。今日、礼拝をささげながら、この答え、ただ、唯一性、再創造を見つげ出しなさい。</p> <p>□本論 1. 神様がアブラハムに契約を与えられた(24) 1) カルデアのウルを離れなさい。 2) 神様がカナンの地に行くようにされた 3) 「わたしがあなたに示す地に行きなさい」これが祈りとみことばだ △ただ、唯一性、再創造の祝福を味わえば、みことばを正確に握るようになる。 2. 神様がアブラハムに 5 つの祝福を与えられた (25) 1) 契約的祝福—神様がアブラハムに語られた。 2) 根源的祝福—「あなたの名は祝福となる (祝福の根源となる) 人を生かさなければならぬので、この祝福を受けるべき 3) 代表的祝福—「あなたによって」私たちが祝福を受けてこそ、滅びる人々を生かすことができる。 4) 記念碑的祝福—「あなたの子孫によって」子孫が答え受ければ、他の人も受けるようになる。 5) 不可抗力的祝福—「あなたに敵対する者はいない」神様のこの祝福を止める者はない。 3. アブラハムが契約を握って祭壇を築いた (永遠、御座の祝福) 1) 従順—従順にはしたが、ロトを連れて出て、ずっと争いが続いた 2) アブラハムの隠された不信仰でロトを連れて出たが、ロトに大きい財産を与えて送り出す 3) 祭壇—創 13:18 のみことばを握ってアブラハムが祭壇を築く。信仰の先祖 (父) になった</p> <p>□結論 1. 今出て来る考え—祈りに変える 2. 今起こる問題—感謝に変える 3. 無意味—一番損をすること、これを御座の祝福を味わう祈りの時間に変えなさい。 △アブラハムはしもべ 318 人を導く富豪になって、世界も生かして、おいも生かした △ただ、唯一性、再創造を見つけてこそ、みことばが生き返る。</p>	<p>・祈りが分からなければ—答えがきても味わえなくてのがす。話と考えが多くなって創 3 章に陥ることになる。 ・救いと祈り—キリストでなければ、わざわい、のろい、サタン、地獄の背景が解できないので、キリストを送ると約束された。キリストが来られて、すべてを解決され、祈りを教えて行かれた。救われたみなさんが祈りができるならば、世界を動かすことができる。祈りが分かれば、神様の答えとみどころがはっきりと見えるために人間中心主義、私の主張が必要ない。 ・あらかじめすべきこと (30-33 節) —未不信者のように心配して祈る、それが正しいのか。「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」</p> <p>□序論_間違った祈り—完全にわざわいの中に陥って、それが正しいと言って祈り、自分だけしか知らない創 3、6、11 にそのまま陥って、それを祈り、ポジションを手に入れるための祈り、肉的祈り、サタンが好むことを祈り (物質、名誉心、虚像—マタ 4 章)</p> <p>□本論_答えられる正しい祈り 1. 暗やみから抜け出す祈り 1) マタ 5:21-26、1 ペテ 5:8、エペ 4:26-27 怒ってはならない。サタンは 24 時付いて回って試みる。 2) マタ 5:33-37 誓ってはならない (私の主張) 3) マタ 5:38-42 復讐してはならない。 4) マタ 6:1-4 人に見えようと救済してはならない。 5) マタ 6:5 人に見せるために祈るのは答えがない。 6) マタ 6:6 小部屋に入りなさい。神様の前で祈りなさい。 2. 御座の力を味わう祈り—暗やみ勢力に勝つ祈り 1) 御座の祝福を味わうこと—一天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。(9 節)、御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。(10 節)、国と力と栄えは、とこしえに父なる神様のものであることを祈る (13 節) 2) 心配しないこと (11 節) —日ごとの糧 3) 私たちがすること (14 節) —他の人の誤りを赦すこと 4) 試みに会わせないようにしてください (13 節) 5) 三位一体の神様の祝福と御座の力 9 つ (神の国)、これが教会と現場に臨むべき (神の義) (33 節) 3. 暗やみを完全にひざまずかせる祈り (14-15 節) —誤った人を許しなさい</p> <p>□結論_祈りのモデル 「神様、三位一体の神様の力と御座の力と時代を生かす力で私に働いてください。この祝福が私の産業の場に今、臨みますように」-息を吸うときに受け入れて、息を吐き出すときに祝福伝達</p>	<p>△正しい契約を握って祈る時間に、とても大きないやしの力が起こる。常に記憶することは、礼拝をささげるとき、現場とつながることと、また、現場にいるとき礼拝をささげたまことばの契約を握るべきということ。このとき、神様が主の御使いを送って神様の働きがなされる。 □序論_神殿建築 (殉教よりさらに大きいこと、それで殉教精神でなければならぬ。) 1. 神殿建築—世界化される最も重要な理由がある。 偶像神殿—暗やみの勢力をまき散らす人々が偶像神殿を作って人々を倒す 1) ダビデ (ソロモン神殿) —神殿建築をすれば、その教会の水準と未来すべてがみな出てくる。 2) 神殿再建 (ゼルバベル神殿) —このとき、θ が重職者の産業、Remnant の学業を世界化させる 3) ヘロデ神殿 (第 3 神殿) —ヘロデが人気を受けるために 46 年間作ったヘロデ神殿。θ が破壊される 2. 神殿は次世代と未来を生かす施設—重要だ。 1) 子どもたちの庭 (サミット) 2) 異邦人の庭 (237) 3) 祈りの庭 (いやし) △これは神殿建築をしなければできないこと、それゆえ、神殿建築は殉教よりさらに大きいこと 3. 文化—暗やみ文化か、生かす文化か。二つのうちの一つが出てくる 1) 幕屋—エジプトとバビロンの神か、神様の祝福の文化かと作られた 2) 神殿—偶像神殿か、人を生かす主の宮かとして出てきたのが「神殿」 3) 教会—この祝福が全世界に伝えられるようにすることが教会</p> <p>□本論 △神殿建築のために教会回復からすべきだ。もう一つは、マタ 24 章に終わりのとき、神殿が崩れる迫害が起こるようになるのと、マタ 25 章に教会の中にせ物が隠れることがある。 1. あらかじめすること—暗やみ砕く教会 1) マタ 5:24 まず仲直りしてから礼拝しなさい。 2) マタ 6:32-33 まず神の国とその義を求めなさい 3) マタ 7:1-6 まずあなたの目の梁から取りのけなさい。 2. 生かす教会—御座の 9 つの祝福をセッティングする教会 1) 私の中に神様の御座の祝福が臨むように 2) 教会の中に御座の祝福が臨むように 3) 現場に御座の祝福が臨むように 3. わざわいを止める教会—これをすれば教会が使命を果たすのだ。 1) 237、いやし、サミットをはっきりと準備 2) 3 キャンプ 3) 教会の 3 システム (1) 教役者—70 弟子 (2) 重職者—70 地域 (3) 副教役者と RT—70 か国を掌握しなさい。 □結論_神殿建築は真の教会の祝福を「世界化」させることだ。 △いまは私たちは三位一体の神様、御座の 9 つの祝福、時代を変える 3 つのシステムが私の中に満たされるように祈ろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>3 三位一体の神様 9 御座の祝福 9 つ 3 時代を変える 3 システム 満たし</p> </div>